

北海道スペースポート整備事業に係る工事のうち、LC-1射場・滑走路延伸詳細設計及び
LC-1射場土木工事

入札説明書等に関する質問に対する回答

	質問事項及び回答
Q 1	<p>入札説明書P4 3(1)の類似施設の設計・施工実績のうち、 <u>元請けとして延べ面積1,000㎡を超える軽量鉄骨造又は鉄骨造の建築設計の実績を有すること。</u> について、 「建築設計」には、デザイン監修、企画、計画、意匠、構造設計等を含むという解釈でよろしいでしょうか？</p>
A 1	<p>貴社の解釈のとおりです。</p>
Q 2	<p>入札説明書P4 3(1)の類似施設の設計・施工実績のうち、 <u>元請けとして延べ面積1,000㎡を超える軽量鉄骨造又は鉄骨造の建築設計の実績を有すること。</u> について、 「軽量鉄骨造又は鉄骨造」には、鉄骨・鉄筋コンクリート造を含むという解釈でよろしいでしょうか。</p>
A 2	<p>貴社の解釈のとおりです。</p>
Q 3	<p>入札説明書P4 3(1)の類似施設の設計・施工実績のうち、 <u>元請けとして延べ面積1,000㎡を超える軽量鉄骨造又は鉄骨造の建築設計の実績を有すること。</u> について、 「延べ面積1,000㎡を超える軽量鉄骨造又は鉄骨造」には、主要構造物は鉄筋コンクリート構造でも一部に軽量鉄骨造又は鉄骨造を含んで、全体で延面積1,000㎡を超えるという解釈でよろしいでしょうか。</p>
A 3	<p>貴社の解釈のとおりです。</p>
Q 4	<p>共同企業体の名称について、名称の付け方に規定などありますでしょうか。 例えば ・A社・B社特定建設工事共同企業体 ・〇〇工事 A社・B社特定建設工事共同企業体</p>
A 4	<p>A社・B社特定建設工事共同企業体としてください。</p>

Q 5	要求水準書 第5設備の性能等に関する要求水準 (10)組立棟(VAB)の仕様について、事務室などに必要となる作業デスク・椅子等の什器・備品類の配置計画、リストアップは本業務に含まれないという理解で宜しいでしょうか。
A 5	配置計画やリストアップも含まれるものとしてお考えください。
Q 6	要求水準書 第5設備の性能等に関する要求水準 (10)組立棟(VAB)のセキュリティーについて、VABの入口は電気錠にて施錠・開錠を行うこととありますが、電気錠についてIDカードを用いる方式との理解で宜しいでしょうか。また、事務室、サーバー室、衛星準備室、衛星準備室用事務室などの出入口についても同様との理解で宜しいでしょうか。
A 6	ご質問の内容については、要求水準書の性能を下回らない内容でお願いします。
Q 7	入札説明書P3(3)スケジュールにて、本年8月3日に落札者が決定した後、工事の本契約を8月中旬に行うこととされています。 詳細設計に着手していない中で請負契約締結することは困難と思われませんが、8月3日の時点では優先交渉権者の特定に留め、詳細設計完了見積後に請負契約を締結するなどへの変更協議に応じていただくことは可能でしょうか。
A 7	基本設計成果に基づき事業費を想定していますので、当初契約は入札による総価契約方式を想定しています。詳細設計後に、総価契約単価合意方式にて落札者と単価及び数量について協議を行う予定です。
Q 8	入札説明書P3(6)主たる部分はP1の(2)本工事の内容の再掲と思われるが、あえて本項目を掲載した意図がございましたらご教示願います。
A 8	特に意図はありません。
Q 9	入札説明書P3(7)再委託の禁止によれば、本事業実施に必要な調査やプラント設備の調達等、外注でなければ対応困難な委託がすべて禁止と解釈できますが、その理解でよろしいでしょうか。
A 9	設計業務における総合的企画、業務遂行管理、手法の決定及び技術的判断及び解析業務における手法の決定及び技術的判断を受注者が行う場合は、再委託は可能です。 プラント設備の調達等の製品の購入は再委託の禁止に該当しません。
Q 10	入札説明書P4(8)その他 において「施工方法の提案を受け付け」と記載されていますが、技術評価項目には施工に関する提案項目がありません。具体的にどの項目に施工提案を記せばよろしいでしょうか。
A 10	「北海道スペースポート整備事業に係る工事 総合評価方法」の「技術提案の評価整理番号B1、1から7」項目に含まれるものと考えています。

Q11	入札説明書P4(8)その他 において「令和4年度の契約業者と随意契約を予定」と記載されていますが、価格合意が成立しなかった場合の進め方をお示し願います。
A11	回答できません。
Q12	入札説明書P6ク現場代理人の項で「現場代理人は各施工担当技術者を兼ねることができない」と記載され、P7の8)総括代理人には「現場代理人、監理技術者を兼ねられている」と記載されており、矛盾していると思われます。ご教示願います。
A12	現場代理人の保有資格、実績により、総括代理人又は監理技術者又はその両方を兼ねることが可能です。 施工担当技術者は、「要求水準書 P19 図-3.1.1 実施体制図」を参照してください。
Q13	入札説明書P10 5.(2) にVE提案を求められていますが、設計未着手の段階によるVE提案とは要求水準書に対する見直し提案と理解してよろしいでしょうか。
A13	「要求水準書」の要求性能を下回らない提案は、協議によりVE提案として認める予定です。
Q14	総合評価方法のAイにおいて価格点が20点とされていますが、算出方法が不明です。算出方法をお示し願います。
A14	工事費等限度額の未満であれば10点加点します。 残りの10点は以下の計算式により算出した評価点により価格評価点を決定します。 価格評価点 = 10点 × (1 - 入札価格 / 工事費等限度額)
Q15	総合評価方法のB技術評価項目と配点割合には、評価項目名確認内容ごとの配点の記載がありません。項目ごとの配点、例えば最優秀は何点、次点は何点といった採点基準をお示し願います。
A15	「北海道スペースポート整備事業に係る工事 総合評価」の技術評価の配点を公表していますので、貴社にて参照してください。 併せて、B2-5及びB2-7に「十勝管外の」を追記しました。 大樹町のホームページ掲載済みの総合評価方法を差し替えております。
Q16	落札者決定基準2 総合評価に「評価委員会が評価する」旨が記載されていますが、評価委員会のメンバーが明らかにされておりません。メンバー及び審査結果の公表時期をご開示願います。
A16	評価委員会のメンバーを公表する予定は有りません。 審査結果は、令和4年8月3日を予定しています。

Q17	次年度以降は随意契約となりますが、今年度工事の落札率が随意契約にも採用されると理解してよろしいでしょうか。
A17	次年度以降の契約金額は、本年度契約の落札率は参考にしますが、協議により決定する予定です。
Q18	今年度工事の入札金額を提出するには、3年間で行う事業、工事等、全ての設計にかかる費用を算出しなければなりません。公告の要求水準書では技術提案書の提出期間内に概略設計の実施、及び詳細設計費用を算出することは、困難であると考えます。提出期日の延長いただくことは可能でしょうか。
A18	技術提案内容は、概略設計、詳細設計成果を求めるものではありませんので、期限内に貸与資料等から可能な範囲で事業費の算出を行ってください。
Q19	保安林解除の申請業務は今年度の工事費に含まれていますが、今年度工事の工期内(令和5年3月24日)に申請業務完了させることは困難と思われま(要求水準書P4の事業工程表参照)。また、設計打合せ協議記録簿(令和3/12/3)の記録により「保安林解除に関して振興局側として疑問を持たれている」との記載がありますが、その後の打合せの状況ならびに現状での解除見通しについてご教示いただけますでしょうか。
A19	保安林解除申請については「要求水準書 P10 2.関係法令等に関する事項 (1)各種法令の届け出」及び「要求水準書 P25 2.設計に伴う留意事項 (2)滑走路延伸設計への対応」に記載のとおりです。
Q20	入札説明書P4(8)その他には「本工事は技術提案に基づいた詳細設計及び建設工事を一括して発注する設計・施工一括を採用する。」と記載されていますが、リスク分担表が無く責任区分が不明です。リスク分担表をご提示いただけませんか。また、煙道の設計については要求水準書P24に「・・・IST社と連携を図りながら・・・」と記載されていますが、設計責任は受注者責任と理解してよろしいでしょうか。
A20	リスク分担については、「要求水準書 P9 1.工事に当たっての基本的な考え方 (8) リスク分担について」に記載のとおりです。 煙道に要求される性能や設計条件は発注者、関係者との協議により決定しますが、煙道設計の設計責任は受注者にあります。
Q21	「技術士」資格を有する者を選定する条件とありますが、その必要性がある工事の難易度ではないと思われま。土木設計業務に「技術士」資格を要求することは理解いたしますが、建築設計にも「技術士」資格を必要とする条件を設定した意図についてご教示願います。

A21	建築設計主任技術者に求める資格は、「入札説明書 P5 3.入札参加者の備えるべき条件 (2)入札参加者の入札参加資格要件等 オ」及び「要求水準書 P20 1.設計業務・施工業務共通事項 (5)実施体制 建築設計主任技術者」に記載のとおりです。
Q22	入札説明書 P8 エ 「大樹町が落札者と工事契約を締結後、選定されなかった入札参加者の構成員が落札者の業務等を支援及び協力することは可能とする」について、建設業法、独禁法には抵触しませんが、国及び自治体では認めないことが一般的です。入札の透明性を疑われる虞があると思いますが、協力を認める根拠をお示しいただけませんでしょうか。
A22	北海道スペースポート整備事業は、大樹町が推進する重要な事業で有り、かつ特殊性の強い事業であり、今後の宇宙産業の成長・発展を考慮した場合に多数の事業者に参加していただく機会を設けております。
Q23	評価値は価格評価点と技術評価点の合計ですが、提出した入札価格と価格評価点との関連が不明です。入札価格の評価方法をご教示いただけますでしょうか。また、技術評価の得点合計の式 ($B1 \times [B2+B3+B4]$) は間違いではないでしょうか。
A23	A15に記載のとおりです。
Q24	入札説明書にて入札参加資格として、 ~ の3項目が挙げられておりますが、全ての実績が必要でしょうか。
A24	「入札説明書 P4 3入札参加者の備えるべき条件 (1) 類似施設の設計・施工実績」において、単独企業、特定建設工事共同企業体のいずれにおける参加の場合でも、 から の全ての実績を有する必要があります。 特定建設工事共同企業体の参加の場合は、全構成会社が保有している必要はなく、構成会社が担当する部分の実績を1者以上が有していれば結構です。
Q25	環境影響評価について、ロケット射場整備は対象外であることは記載されておりますが、一連の工事である飛行場滑走路延長について、延長250m以上ですので第2種事業に該当すると思われます。関係各所と協議して、滑走路延伸工事も含めて条例アセスは不要で、自主アセスとなったとの認識でよろしいでしょうか？
A25	本事業に関しては、自主的な環境アセスメントを想定しています。
Q26	事業工程表では、2022年度、2023年度の2か年に渡って、造成・舗装工事を行うとなっております。2022年度と2023年度の範囲の区分けをご教示願います。
A26	貸与資料に基づき、貴社にて想定してください。 詳細設計終了後に必要となる設計変更協議は、行う予定です。

Q27	タンクが数基となっており、例えばFUELタンクやLOXタンクの場合、ZEROの機体充填量の2倍以上となっていますが、機体充填量が無いと計算できませんので、ご教示願います。
A27	タンクに要求される性能や設計条件は発注者、関係者との協議により決定します。なお、想定する機体充填量は、LNGは17～21m ³ 、LOXは18～22m ³ とします。
Q28	要求水準書では、FUEL極低温容器を数基設置できるものとなっておりますが、施設配置計画図では一基のみ実装し、スペース（基礎）はもう一基分あるように書かれています。一基分のみの調達と一基分は基礎のみと考えてよろしいでしょうか。
A28	詳細設計業務にて決定する予定です。
Q29	基本設計等委託業務報告書に滑走路延伸部道路側（進入表面に抵触する）樹木伐採が必要との記載がありますが、保安林の解除等の手続きは不要で所有者とは合意済であると理解してよろしいでしょうか。
A29	A19に記載のとおりです。
Q30	土対法の協議状況をご教示願います。もし措置が必要となった場合の処置費用は基本的に大樹町負担で、工期延長の協議は可能と理解してよろしいでしょうか。
A30	貸与資料を参照して、貴社にて想定してください。 費用については「要求水準書 P12 3.対象地の現況 (2)地盤状況」に記載のとおりです。また、工期延長についても協議の対象とします。
Q31	射場の適合認定に提出された仕様書等を開示して頂けませんでしょうか。
A31	適合認定に関する書類は国へ提出しておらず、資料の作成を含め今後の作業となります。よって、現時点で開示できる仕様書等はありません。
Q32	LC-1射場基本設計_設計図面集のLC-1射場フローシートに書かれている赤色枠は「LC-1射場にて準備するもの」と書かれていますが、打上げ業者側と考えてよろしいでしょうか。
A32	貴社のご質問のとおり、打上げ事業者と考えてください。
Q33	今年度のプラント設備調達の範囲をご教示願います。タンク・ポンプのみで良いか、LC-1射場フローシートの黄色で示された機器か、電気工事の受変電設備まで含みますでしょうか。あるいは、それ以上のものも必要でしょうか。仕様は LC-1射場フローシートに記載されているものと理解してよろしいでしょうか。

A 33	<p>想定しているプラント調達範囲を以下に示します。要求水準書の「第5設備の性能等に関する要求水準」を参照するものとします。ただし、詳細設計にて、最終の仕様や数量は決定されるものとします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. P30 (2)FUELタンクヤード FUEL極低温容器の要求性能のうち、極低温容器、蒸発器、各種計装品、各種バルブ、制御機器 2. P31 (2)FUELタンクヤード LN2極低温容器の要求性能のうち、極低温容器、蒸発器、各種計装品、各種バルブ、制御機器 3. P32 (2)FUELタンクヤード GN2カードルの要求性能のうち、各種計装品、各種バルブ、制御機器 4. P33 (3)LOXタンクヤード LOX極低温容器の要求性能のうち、極低温容器、蒸発器、各種計装品、各種バルブ、制御機器 5. P34 (3)LOXタンクヤード LN2極低温容器の要求性能のうち、極低温容器、蒸発器、各種計装品、各種バルブ、制御機器 6. P35 (3)LOXタンクヤード GN2カードルの要求性能のうち、各種計装品、各種バルブ、制御機器 7. P36 (4)FUEL処理設備 LCH4 (LNG) 処理設備の要求性能のうち、タンク、蒸発器、各種計装品、各種バルブ、制御機器 8. P37 (5)コンプレッサーヤード コンプレッサーの要求性能のうち、コンプレッサー本体、レシーバータンク、各種計装品、各種バルブ、制御機器 9. P38 (6)GHeカードルヤード GHeカードのうち、各種計装品、各種バルブ、制御機器 10. P38 (6)GHeカードルヤード GN2カードのうち、各種計装品、各種バルブ、制御機器 11. P39 (7)用水ヤード 用水貯槽のうち貯槽、各種計装品、各種バルブ、制御機器 12. P40 (7)用水ヤード 散水ポンプのうちポンプ、各種計装品、各種バルブ、制御機器 13. P41 (7)用水ヤード 防火散水ポンプのうちポンプ、各種計装品、各種バルブ、制御機器 14. PP27-29 (1)共通のうち、上記調達範囲に示す(1)～(13)の設備に関連する商用電源、サイト内電源、制御、ネットワーク、上水に必要となる設備
Q 34	<p>要求水準書では煙道の基礎が杭基礎を想定となっていますが、図面等では杭の仕様・数量等が出ておりません。不要と考えてよろしいでしょうか？</p>
A 34	<p>詳細設計業務にて決定する予定です。</p>
Q 35	<p>「総合評価方法」について 価格評価点の配分点は20点となっていますが、入札価格に対して、価格評価点が20点中何点になるのか、点数の付け方をご教示ください。 例えば、最低入札制限価格を設け、この価格に近いほど20点の最大値に近づく評価式を設定しているのでしょうか？</p>
A 35	<p>A 14に記載のとおりです。</p>

Q 36	入札額には、最低制限入札価格を設けていますか？ 具体的には、国土交通省や北海道に準じて、設計価格の92%程度になっていますか？
A 36	最低制限価格は設けておりません。
Q 37	技術評価点は80点の配分点となっており、技術評価項目ごとに、配点割合が示されていますが、各技術評価項目の内訳をご提示ください。 例えば、設計段階の配置予定技術者の要件で、建設部門の技術士を保有している場合と、建設部門以外の技術士を保有している場合では、それぞれ、配点は何点に設定されているのでしょうか？ なお、この配点差によっては、配置する技術者の人選にも差が出ます。
A 37	A 15に記載のとおりです。
Q 38	「総合評価方法」のAのウ「技術評価点の算出方法」に技術評価の得点合計の式が記載されていますが、B 1 評価の配点とB 2 , B 3 , B 4 の評価の配点小計をかけ合わせる式になっていますが、これは正しいのでしょうか？
A 38	A 15に記載のとおりです。
Q 39	乙型の特定建設工事共同企業体の場合、様式第6-1号の協定書（乙）以外に、この乙型共同企業体に包含される、各甲型の共同企業体の協定書も提出が必要でしょうか？ 例えば、設計・施工の、4者による乙型共同企業体が、設計会社2者による甲型共同企業体と、施工会社2者による甲型企業体により構成される場合。
A 39	乙型の特定建設工事共同企業体で参加の場合、参加表明時には乙型の協定書のみ提出を求めています。質問の主旨である共同企業体内での構成については各共同企業体の判断により、各々甲型の共同企業体協定書の提出は求めています。
Q 40	公告資料に提供されている、乙型の共同企業体協定書がありますが、大樹町様式の甲型の共同企業体協定書様式をご提供いただけませんか？
A 40	大樹町様式はありませんが、任意様式として国土交通省の甲型の共同企業体協定書様式を使用して下さい。
Q 41	共同企業体の名称に付け方に、規定はありますか？ 例えば、構成会社A・構成会社B・構成会社C 特定建設工事共同企業体 あるいは、上記に加え、工事名も先頭に加える、等。
A 41	A 4に記載のとおりです。

Q42	<p>要求水準書 P20 設計管理技術者、設計照査技術者及び設計主任技術者 8)」に記載のあるプラント設備設計主任技術者は、「高圧ガス保安法におけるガス製造に係る実績をもつこと。」とされていますが、配置予定技術者の評価項目には記載がありません。プラント設備設計主任技術者は、技術提案書を提出する段階では個人を特定するような記述ではなく、資格保有者及び実績を保有する者を配置することを明記すれば良いと理解してよろしいでしょうか。また、プラント設備主任技術者は、専門工事会社や協力会社に再委託して配置することでもよろしいでしょうか。</p>
A42	<p>貴社の理解のとおりで結構です。</p>
Q43	<p>入札説明書 3 (1) の類似施設の設計・施工実績のうち、 元請けとして10,000m²以上の造成工事の実績 について、 (2) アと キの規定から、共同企業体の構成会社のいずれかの会社が要件を満たす必要があることとなっていますが、 のキ（監理技術者）、ク（現場代理人）には、 施工実績を満たす必要の記載がありません。 会社としての実績は必要だが、監理技術者、現場代理人には実績は求めないということ でよろしいでしょうか？それとも、必要でしょうか？</p>
A43	<p>現場代理人は、類似施設の施工実績を求めています。 監理技術者は、「要求水準書 P21 現場代理人及び主任技術者等 2)主任技術者イ）」に記載のとおりです。</p>
Q44	<p>入札説明書 3 (1) の類似施設の設計・施工実績のうち、 元請けとして10,000m²以上の造成工事の実績 について、 実績として認められる会社実績は、過去何年以内の実績でしょうか？ なお、様式第9-5号の配置予定技術者届（会社実績ではない）には、記載する施工経 歴欄に過去10年の類似工事施工実績を求められていますが、過去10年以内の10,0000 以上の造成工事の実績が必要ということでしょうか？</p>
A44	<p>会社実績としての類似施設の設計・施工実績には、期限を設けていません。</p>
Q45	<p>施工実績について、過去10年以内とされる場合、本年度2022年度に対し、 10年前の2012年度に竣工した工事（2008～2012年度の施工）は施工実績として認めら れますか？</p>
A45	<p>A44に記載のとおりです。</p>